

平成30年度 豊岡総合高等学校学校評価

1 学校経営ビジョン

創造性やチャレンジ精神を養い、夢や目標を持ち、自立して未来に挑戦する生徒の「生きる力」を育む
1 生徒の自尊心を育てる中で、自立心を喚起し、21世紀を担う自主性と社会性を身に付けた地域社会のリーダーを育成する学校
2 教職員が育つ学校 一人一人の教職員が教育に携わる者としての誇りと意欲を持って職務に励む

総合的な内部評価

本校の教育活動を理解していただくために、公開授業を取り入れたオープンハイスクールなど学校開放に積極的に取り組み、HPにて情報発信に努めた。次年度はさらに部活動等においても適宜情報発信できる体制を構築していきたい。
豊岡市との中高連携推進事業である「ふるさと教育」「コミュニケーション教育」「英語教育」推進の一環として、ヒトリア海外語学研修、平田オリザ先生の表現の講座などを実施した。次年度に向け、より多くの生徒が学ぶ機会を創出し、ふるさとについて考える機会をさらに増やしたい。
生徒の希望の進路を実現させるため、インターンシップを計画的に実施し、インターンシップを通じて、職業体験や卒業生講演などを実施した。また、ものづくり体験や技術を生かした地域貢献、高齢者施設や保育園等の訪問、環境保全活動、観光地でのボランティアなど各々の特色を生かして地域行事へ積極的に参加した。今後も地域とのつながりを保ちながら、キャリア教育の推進に努めたい。

2 本年度の学校経営方針

1 学校経営の透明化による組織力の向上
①新たな学校ビジョンの共通理解を図り、協働して取り組む。
②学校情報を定期的に学校関係者や保護者、地域住民などに発信する。
2 教職員の資質能力の向上
①組織目標を達成するために必要な資質や実践的能力を向上させる。
②基礎的な知識・技術・技能を確実に定着させるための指導、支援の方法を工夫し、魅力的な授業を実践する。
3 基礎学力の定着と自立的な学習姿勢の育成
①わかりやすい授業に向けて授業内容・方法を改善を図ると共に、支援の方法を工夫し、魅力的な授業を実践する。
②学習や諸活動の成果を発表させることで、自己有用感や達成感を感じさせ、さらなる向上心を喚起する。

総合的な学校関係者評価

本校の教育活動を理解していただくために、ご理解いただき、概ね比較的高評価を受けた。基本的には継続して教育活動に尽力願いたい旨をお聞きする中で、近年の社会情勢、学校の状況に応じて、さらに改善していただきたい具体的な助言を受けた。
最近、高校生でみられるスマホの使用、マナー等について、これまでの指導の変遷から、有効なスマホの利用について、助言をいただいた。近隣の商業施設の方から、今後持続可能な社会の取組みに向けて、高校生が社会の課題を解決していく実践、学校の特色を活かして学習を考えたいただきたい、是非この方向で協力、協働していきたい。
全国、全県とも、少子化に伴い生徒の確保については、地域のみならず、全県からの募集であるため、このために努力、ご尽力をお願いしたい。

3 学校自己評価と学校関係者評価

Table with 4 columns: 実践目標, 評価, 本年度の取り組みについてのコメント, 学校関係者評価. Rows include 教職員共通 and 3 学習習慣の確立と自分の考えを伝える力の育成.

Main evaluation table with 4 columns: 実践目標 (上段/下段), 内部評価, 本年度の取り組みと次年度への課題・具体的な改善方法, 学校関係者評価. Rows include 校務分掌, 総務部, 教務部, 生徒指導部, 進路指導部, 保健部, 環境建設工学科, 総合学科, 1 学年, 2 学年, 3 学年.

Summary table for school self-evaluation and stakeholder evaluation. Columns: 学校自己評価は適切か, 改善方法は適切か, 課題と次年度への具体的な改善方法.

Detailed stakeholder evaluation table. Columns: 内部評価は適切か, 改善方法は適切か, 課題と次年度への具体的な改善方法. Includes specific feedback points like '成績処理のミスは起こるものなので、起こりにくい仕組み、手順等を工夫されたい。' and 'インフルエンザの流行は、この方法で予防に努めていただきたい。'